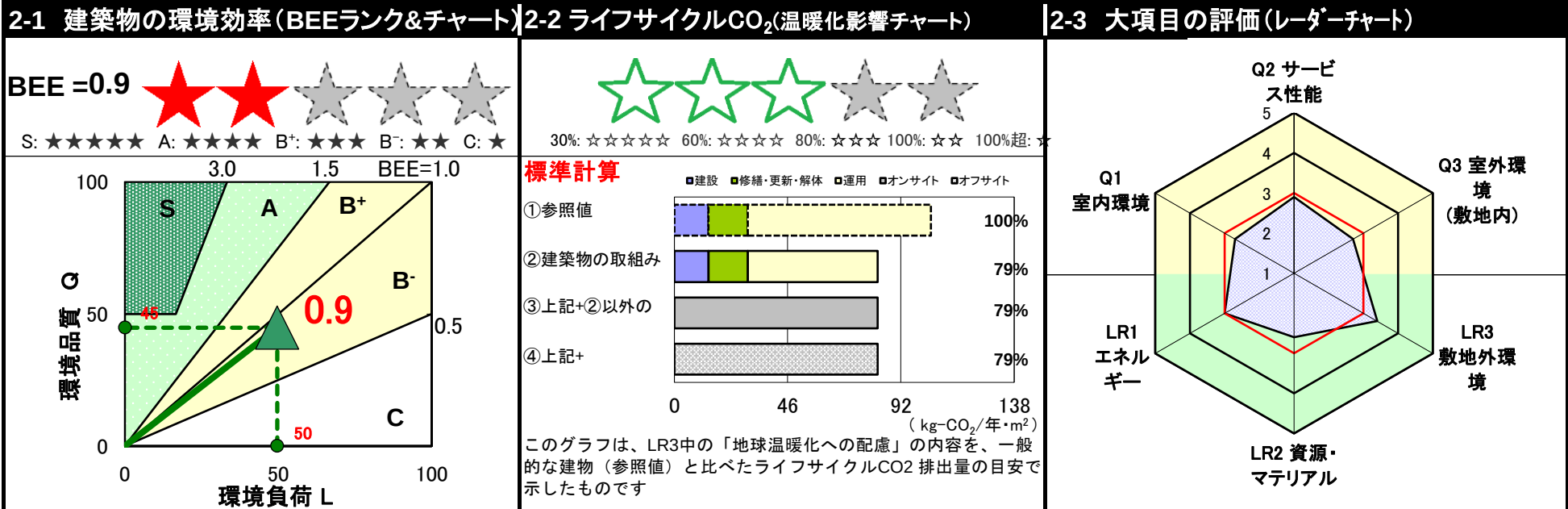


CASBEE[®]-建築(新築)

評価結果

■使用評価マニュアル: CASBEE-建築(新築)2021年SDGs対応版_追補版 | 使用評価ソフト: CASBEE-BD_NC_2021SDGs(v2.3.4)

1-1 建物概要			1-2 外観	
建物名称	(仮称)障がい者ケアセンター建設工事	階数		
建設地	海老名市社家二丁目3449番地ほか3筆	構造		
用途地域	第一種住居地域、準防火地域	平均居住人員		
地域区分	6地域	年間使用時間		
建物用途	事務所,工場,	評価の段階		
竣工年	2026年8月 予定	評価の実施日		
敷地面積	2,197 m ²	作成者		
建築面積	1,245 m ²	確認日	2025年3月27日	
延床面積	2,199 m ²	確認者		
			(株)シーラカンサント・アソシエイツ	



2-3 大項目の評価(レーダーチャート)

Q2 サービス性能

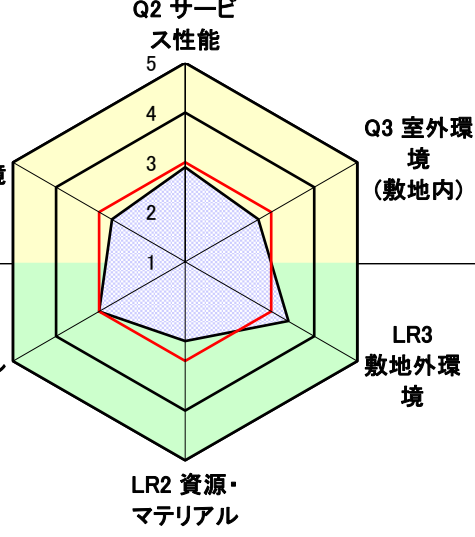
Q3 室外環境 (敷地内)

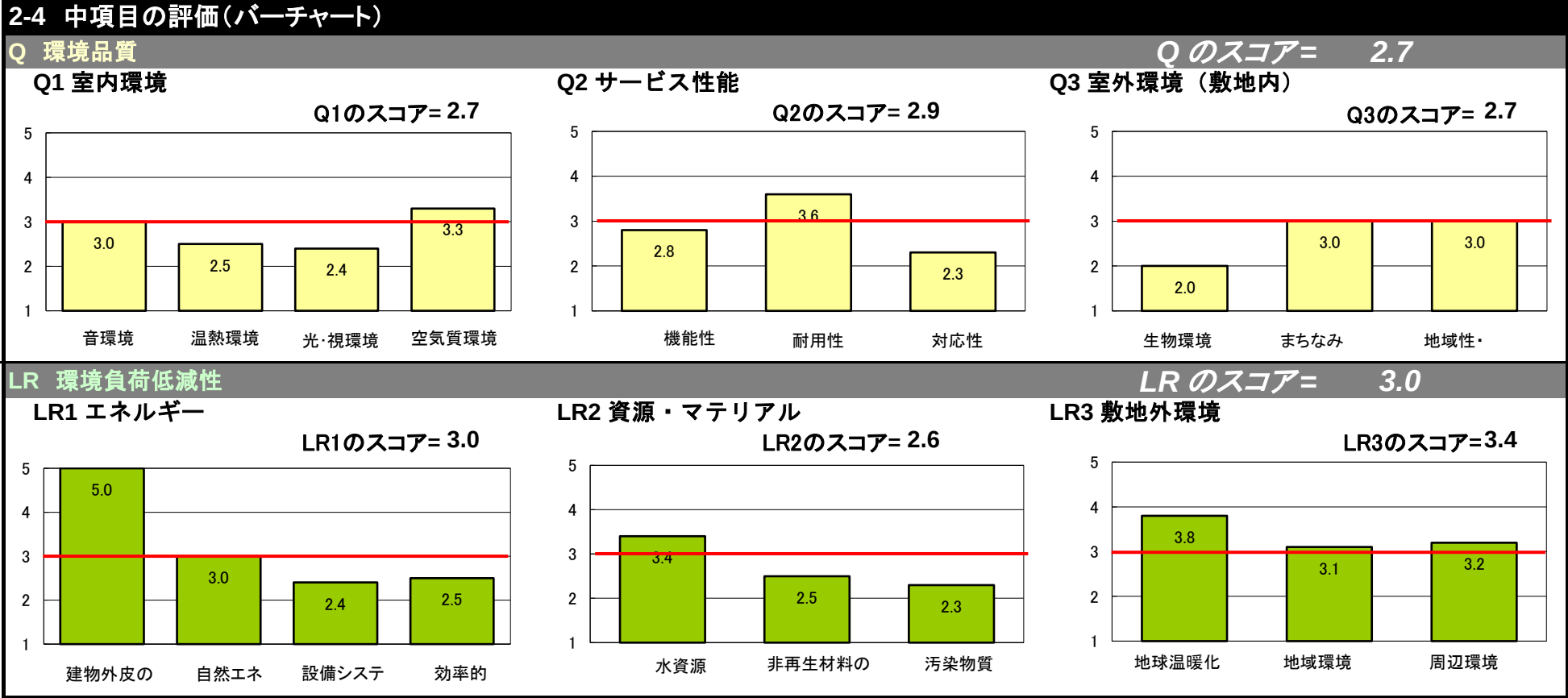
LR3 敷地外環境

LR2 資源・マテリアル

LR1 エネルギー

Q1 室内環境





Q3 室外環境 (敷地内)

Q3のスコア= 2.7

5

4

3

2

1

2.0

3.0

3.0

生物環境 まちなみ 地域性・

LR 環境負荷低減性

LR1 エネルギー

LR1のスコア= 3.0

5

4

3

2

1

5.0

3.0

2.4

2.5

建物外皮の 自然エネ 設備システ 効率的

LR2 資源・マテリアル

LR2のスコア= 2.6

5

4

3

2

1

3.4

2.5

2.3

水資源 非再生材料の 汚染物質

LR3 敷地外環境

LR3のスコア=3.4

5

4

3

2

1

3.8

3.1

3.2

地球温暖化 地域環境 周辺環境

3 設計上の配慮事項			その他
総合			
計画建物が重症心身障がいや重度知的障害の方が通所する施設であることから日常から災害時の環境など様々なケースを想定し、施設特性に合わせた構造・内装・設備の計画を行った。			
Q1 室内環境	Q2 サービス性能	Q3 室外環境（敷地内）	0
・ 建築材料は、JIS・JAS規格のF☆☆☆☆をほぼ全面的に採用。 ・ 自然換気開口面積が、居室面積の1/20をクリアするように計画している。	・ 内装計画では、コンセプトや施設特性に合わせた仕上材(木材、防水材)、設備・照明の計画やパース等を用いた検討を行った。 ・ 執務スペースの1%以上のリフレッシュスペースを確保		
LR1 エネルギー	LR2 資源・マテリアル	LR3 敷地外環境	
BPlm=0.72、BEIm=0.71、LED照明設備も採用している。	自動水栓に加えて、節水型便器も採用している。	適切な量の駐輪場及び駐車場を確保し、荷捌き用車両(搬入車)の駐車場も確保している。周辺道路の渋滞緩和対策として、車両出入口は、IN・OUTをそれぞれ専用としている。	

■CASBEE: Comprehensive Assessment System for Built Environment Efficiency (建築環境総合性能評価システム)
■Q: Quality (建築物の環境品質)、L: Load (建築物の環境負荷)、LR: Load Reduction (建築物の環境負荷低減性)、BEE: Built Environment Efficiency (建築物の環境効率)
■「ライフサイクルCO₂」とは、建築物の部材生産・建設から運用、改修、解体廃棄に至る一生の間の二酸化炭素排出量を、建築物の寿命年数で除した年間二酸化炭素排出量のこと
■評価対象のライフサイクルCO₂排出量は、Q2、LR1、LR2中の建築物の寿命、省エネルギー、省資源などの項目の評価結果から自動的に算出される